

平成27年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

千葉県

| | |
|---------|--------------------------|
| 行事名称 | 飯綱神社防火訓練 |
| 実施期間・日時 | 平成28年2月7日（日）10:00～11:00 |
| 実施場所 | 八千代市指定文化財飯綱神社（八千代市萱田476） |
| 主催者 | 宗教法人 飯綱神社 |

■実施内容

訓練の想定

タバコの不始末により、八千代市指定文化財である飯綱神社鐘楼で火災が発生。消防へ通報するとともに初期消火を試みるが鎮火は不可能と判断し、重要物品の搬出を行う。その後通報を受け出動した所轄の消防署及び消防団により消火活動を行う。

訓練の内容

飯綱神社関係者による火災発見、通報、初期消火（消火器）、重要物品（模擬）の搬出、参拝者の避難誘導訓練を実施。消防署、消防団による放水訓練を実施。放水訓練後、見学者も参加可能な消火器による初期消火訓練も実施。

参加者及び役割分担

| | |
|-------------|----------------------------|
| 飯綱神社関係者 | 4名：119番通報・初期消火・重要物品搬出・避難誘導 |
| 八千代市消防団第2分団 | 8名：放水訓練 |
| 八千代市中央消防署 | 4名：放水訓練、消火器操作訓練指導、講評 |
| 萱田地区住民 | 10名：消火器操作訓練 |
| 八千代市教育委員会 | 4名：進行、見学者誘導、現場立会 |

特に工夫した点

拡声器を使用して、通報訓練のやり取りを見学者へも聞こえるようにした。また、訓練の進行に合わせて状況説明を随時行う等、関係者の訓練としてだけでなく、見学者への啓発を意識した訓練の進行を行った。

問題点・課題

神社境内への車路の幅が狭く、消防車両の進入には慎重を要す。そのため、実際に境内で火災が発生した時に、消防の到着まで時間がかかる可能性があり、早期の発見及び消火活動が重要となってくる。神社自体に人が常駐しているわけではないため、神社関係者及び周辺住民と協力して、緊急時の連絡体制作りを検討する必要がある。

その他

比較的新しい住宅地が隣接する場所にあることから、昔から氏子として神社に係っている住人だけでなく、新しい住民にも係ってもらえるよう、文化財愛護及び防火・防災について周知及び啓発を続けていく必要がある。

訓練風景



放水訓練



消火器操作訓練